

ほっと♡ゆうばり

第14号
2008年
11月1日

編集・発行：ゆうばり再生市民会議 広報部

先月10日(金)、第14回目の再生市民会議を清水沢の市民研修センターで開催しました。今回は最初から分科会に分かれず、出席の運営委員26名、市長、事務局4名の全員が車座に着席して、6時半から2時間余り(約170分間)の話し合い。他に東京都職員6名が参加見学しました。会議の内容を記します。

1. 分科会について (福祉・環境・観光)

基本的に全体会議とは別日時に開催する。また、運営委員が他の分科会に参加できるよう、できるだけ別々の日程で分科会を開催し、各分科会の活動状況について事務局から運営委員に随時、情報を提供する。

なお、分科会は公開を基本原則とし、市民参加を積極的に促す。

2. 全体会議について

1) 定例会議

分科会と全体会議を別々に開催すると、参加する運営委員の負担が増えるため、全体(定例)会議の開催は3ヵ月に一度とする。(次回は来年1月の第2金曜日に開く予定)

2) 臨時会議

各分科会から全体会議にはかかる案件があれば、必要に応じて臨時会議を開催する。臨時会議は、定例会議開催月以外の第2金曜日に開催する。

3) 議事進行役について

これまで園委員に議事進行役をお願いしてきたが、今後の議事進行は、各分科会の持ち回りとする。(進行役を各分科会から選出)

3. こども部会について

運営委員が子育て世代の生の声を聞き、どのようなニーズがあるか把握したうえで、具体的な活動方針を検討する。なお、当面は福祉分科会の活動の一環として、取り組みスタートする。

4. まちづくり部会について

今後、事務局的な役割を担う広報部を中心とした全体会議のなかで、市民生活に必要なテーマを絞り、まちづくり部会のあり方を考える。

5. 運営体制について

これまで事務局を市役所の地域再生グループが担当し、広報部は広報「ほっと♡ゆうばり」の編集をしてきたが、今後は全体(臨時)会議召集の要否等を検討する仕事があるので、広報部に事務局的な役割を持たせる。なおこれに伴い、広報部の仕事量が増えるので、運営委員から新たに広報部員を募って、円滑な運営を目指す。

……話し合いを要約すると、こんな感じでしょうか。30人の語り口はそれぞれ個性あふれて真剣かつユーモアあるものです。人前で自分の考えを言葉にして話すことの、むずかしさと恥ずかしさがつきまといますが……参加されると雰囲気は一目瞭然、あなたもしゃべりたくなる……



夕張いいとこ発見ウォーキング

夕張いいとこ発見ウォーキング

★10月19日(日) 午前9:30~11:00

★コース JR清水沢駅⇒南部(三菱大夕張鉄道跡)⇒そば店⇒南部小学校跡⇒営林署⇒森林鉄道機関庫⇒青葉町⇒清水沢ダム(終了)

鮮やかな紅葉を眺めながら、南部地区の普段見過ごしている炭鉱遺産などを再発見するウォーキングに16名が参加しました。秋晴れ、青空、真っ赤な紅葉の下、歩いて感じた感想をご紹介します。

○40代男性……「あちこちで炭鉱遺産がどんどん壊されている。形あるものはいつかは壊れてしまうが、あえて積極的に壊さないでほしい」

●40代男性……「今日は旧三菱大夕張鉄道の保存車両を見た後、森林鉄道の機関庫を見学できた。今後、仮にどちらかが無くなっても南部の往時を懐かしむことはできるが、想像力は低下すると思う。史跡や建築物は全てが絡み合っており、イメージできるものだ」



三菱大夕張鉄道の車両

○50代女性……「炭鉱遺産は、市民と行政が一体となって見守ることが必要。勿論、市外の私たちにもできることはあると思う」

●50代男性……「地元の方々にとっては何の変哲もないものでも、史跡はマチの歴史を語るうえでも貴重なもので壊さないでほしい。むしろ、そのまま崩れていってほしい」

○30代男性……「産業遺産は地元の人でもなかなか価値が判らないもの。しかし、廃止されたり壊されたりして初めて価値に気付く。地元を含めた十分なディスカッションが必要」



森林鉄道機関庫



ゆうばり紅葉まつりで出会った 出店デビュー2店の泣き笑い



やっ寅屋

▲やっ寅屋▲ 生ビール、フランクフルト、くじ、駄菓子
踊りでもやって自分達が楽しまなきゃと“やっとられん”
(やっ寅連 誕生です)。「よさこい」で一緒だった仲間達
も少し落ちつき、何かしたいねと今年の夏まつりに参加。
元気を発信することで、マチが活気づけばの思いです。
来年の夏まつり参加のための資金調達で出店しました。
くじと駄菓子の店先は子どもたちで大賑わい。笑顔と笑い
顔があふれていいですね。



市若手の会

◆市若手の会◆ 山ぶどう、ポップコーン

若者で何かしようと声かけあい、7~8名が集まりました。
数少ない20代独身の男デス。(花嫁募集中)
やってみると楽しいデス。売り上げの一部を市に寄付し
たかったんだけど……。めげずに続けます。次回出
店の時にはお立ちより(冷やかして)下さい。
“ポップコーンいかがですか” 元気な声が響いて気持ちいい!
土曜は生憎の天気で残念! 次の日なら飛ぶように売れた
のにネ。



ゴミにも愛を

◎再生市民会議の環境部会はゴミ集め係をしました◎

11日(土)は東京都庁からの応援団7名、
12日(日)は南部ふれあいサロンから4名が協力してくれ
ました。気になるのは、すぐに満杯になるプラスチック
容器→資源になるんだけどナー! ?
会場後片付けは、実行委員会、農協青年部、出店者の
若者たちが手際良く行っていましたよ。出店デビューの
若者たちも一緒でした。“ホット”な気持ちで二日間良く
遊んだねと、孫の頭をなげました。

集めたキャップ 1万5千個!

ポリオワクチン20人分



ありがとうございます幸村さん

ほっと♡ゆうばりの10号(7月1日)で特集した
ペットボトルのキャップを捨てずに集めよう運動
は着実に広がっています。すでに千代田中と
夕張高校は取り組んでいましたが、南支所へは
市民の方が持参してくれています。本町は幸村
さんが中心になって、袋に満杯です。
送り先のレカムイ北海道(プロバスケットチーム)
へは、ペプシコーラ販売(株)の岩見沢支店さんが
無料で届けてくれました。(10月24日) 感謝。

「自治体政策研究所」と「ゆうばり再生市民会議」意見交換会しました

○10月24日(金) 午後6:30~9:00 ○市民研修センター2階にて

○出席者・NPO 法人自治体政策研究所から8名
・再生市民会議運営委員15名・市地域再生グループ3名

- ①~研究所・渡辺副理事長から夕張との関わりについて報告の後、DVD映像により北米パークレイ市の先進事例が紹介される。パークレイ市民のまちづくりの取り組み、議会の運営と参加、42もある委員会の様子、市民主導のラジオ局の存在など約30分の映像を鑑賞。議会で小学生が堂々と発言する姿に感動。市民ひとり一人の発言の必要性を痛感。
- ②それぞれDVDの感想、まちづくりへの思いを述べる。行政や議会にもっと関心を持ち、本会議、常任委員会の傍聴に積極的に参加しよう。
- ③~研究所・森理事長から、夕張の再生について話し合う「市民フォーラム」開催や「再生市民室」設置の提案。
- ④市民を含めた第2回「再生市民会議」開催は懸案事項だが、時期についてはこれからの分科会、全体会議の話し合いで検討していく。

10月28日の行政常任委員会傍聴しました

初めて市役所5階の委員会室に入りました。議員さん、市の偉いさんが居並んで、ドキがムネムネして(古いギャグ)、倒れそう。初体験の感想をちょっとばかし。(50~70代主婦)

- ①名前、住所、年齢を書かなければならないことにビックリしました。
- ②思ったより活発な議論がなされていて、フーンと思いました。
- ③委員会なるものいつ開かれるのか市民はわからない。日程を知るにはどうすれば?
- ④行政・市側の方も再建に向けて頑張ってるなー、と感じました。
- ⑤終わったとき、副議長が「いっぱい来ましたね、また来て下さいね」と言っていました。

ささえあって1周年 自分が楽しもう ゆうばり市民会館まつり みんな集まれ!

11月23日(日)12時~ステージ発表

24日(月)13時~無料上映会「オリオン座からの招待状」

主演・宮沢りえ(綺麗!)

23日~28日(金) 作品展示会~作品募集 問合せ 市民会館53-2637



環境分科会

11月13日(木)午後6:30

観光分科会

14日(金)午後 "

市民研修センター

福祉分科会(キップロジェクト) 17日(月)午後 "

ご用件は 地域再生グループ TEL 52-3141へ